

(報告様式第3号)

改善計画書

事業者名 (エーデルワイス幼保園)

(2024年 2月 1日 作成)

改善に向けた事業者のコメント	第三者評価を受けたことにより、創立42年間の良き自負があったが、より良い評価やまだ努力しなければならない点などを指摘していただき、園全体で職員と共に改善及び努力の必要性を感じた。今後さらに、園児にとってより良い保育環境の提供と保護者からの信頼をもっと得る為に全職員と共に努力していきたいと思います。							
短中長期	No	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で出来ること	1	園全体の自己評価の仕組み	施設内評価表を作成する。	5カ月	R6. 2～	R6. 6	個々の自己評価データをまとめて分析・検討する。園としての課題と今後の取り組みについてまとめて協議していく。	園長 主任
中・長期間でできること	1	中・長期事業計画の策定	園内開放やインターネットでの園内開示、対外的なイベントや行事に対して園児たちを参加させる。	10年	R6. 2～	R16. 3	実行可能な目標や具体的成果等を設定する。少子化における園児確保するための方策を立てる。	園長 副園長 主任
	2	虐待や権利擁護の研修・参加について	研修を実施し、報告書を作成する。	随時	R6. 4～	随時	園内・外部の研修への参加させる。	園長 主任 全職員
	3	園内研修での職員の学び・意識・専門性の向上	研修での学びを日々の保育の中に取り入れる。	随時	R6. 4～	随時	職員の保育の質の向上の為に保育実習を行ったり、感染症などの学びについては専門家(嘱託医)を呼び、園内にて父母と共に研修を受ける。	園長 主任 全職員

	4							
今後検討 すること	1							